



名取教室 教室長

かいわ 海和 洵

(前編の続き)
銀行員だった海和さんは、いか
にして生徒と向き合う教育者とな
ったのでしょうか。打ち砕かれた
プライド、妻への恩義を胸に下した
決断、そして第1子の誕生。人生
の転機を経て深みを増していく、
海和さんの教育観を紐解きます。

💡 プライドを壊した 支店長の一言

福島大学共生システム理工学類
で経営工学を学び、地元の銀行へ
入行した海和さん。同期の中で一
番大学の成績が良かったため、4
月1日の入社式では新入行員代表
として挨拶を述べました。当時の
心境を、率直にこう振り返ります。
「もしかして俺って優秀!? めちゃ
めっちゃ仕事できるじゃん!」と思っ
たまま銀行員になりました。

1か月の研修を経てゴールデン
ウィーク明けに営業店配属が決ま
りました。初日に打ち砕かれます。
営業現場では、20件の投資信託や
保険のノルマに対し数件しか契約
が取れず悔しい挫折を味わいまし
た。自分は会社の負担にしかなっ

ちの行動を変えます。あるとき、
能力はあるのにやらない生徒へ、
「もうちょっとやればできると思
うよ。点数を取る子は授業日以外
も自習しに来てんだよね」と何気
なく伝えました。その一言を信じ
た生徒は、翌日から自習室に通い
詰めるようになりました。そうし
た信頼関係と生徒の成長を見る瞬
間が、何より嬉しいと言います。

💡 第二子の誕生で 進化した目線と、 次なる目標

去年の9月、海和さんの人生に
大きな変化が訪れます。第1子と
なる男の子が誕生したのです。1か
月間の育児休業を取得し、育児の
大変さを痛感したことで、保護者
に対する思いも大きく変わりました。
自分が父親になって初めて、親
がどれほど深い愛情を注いで我が
子を育てているのかを実感し、本
当の意味で親の気持ちや愛情を理
解できるようになったと言います。

復帰後は日々の意識にも変化が
生まれました。テスト対策で日曜
日に出勤する際など、妻に対して
「いつもありがとう。子育て頑張っ
てるけどごめんね、日曜日出勤だ



つて山形から仙台へ異動する際、
大学時代から付き合っていた彼女
(今の奥さん)に「お前も仙台に来
い」と伝え、当時福島にいた彼女
は仕事を辞めて仙台についてきて
もらったという大きな借りがあり
ました。今回は自分の番だなと感
じた海和さんは「じゃあ俺仕事辞
めるわ」と自らの退職を決断。

次の道を探す中で、学生時代友
人に勉強を教えて喜ばれた記憶
や、高校の数学教師への憧れが蘇
ります。教員免許を持つていないた
め学校の先生にはなれませんが、
塾講師ならできると判明。「宮城県
塾」とネットで検索し、最初に出
会ったハイパーレーニングを受け、
他と比べることもなく内定をいた
だき一步を踏み出しました。

💡 毎夜の反省会が 磨き上げる 生徒との対話

2020年の9月頃に入社し
てからは、他の先生方の授業を見
学し、自分の授業後にアドバイ
スを仰ぎながら塾講師としての仕
事を学んでいきました。当時は特
に授業が下手だったと振り返りま
すが、今でも上手いと思っていない
からこそ、熱だけは込めて教える
姿勢を心がけています。生徒を叱
る場面でも、根底にある愛が伝
わっているかを意識してきました。
最も大切にしているのは、人と
関わるのが好きだからこそ生徒一
人ひとりと丁寧に向き合うこと
です。生徒の部活や好きなもの、人
見知りの特徴などを細かく記憶し
ています。授業後は、一人でご飯
を食べながら「1人反省会」が始
まります。

「今日の授業のあの説明は本当
に伝わっていたか。厳しく叱りす
ぎて帰り際に落ち込ませてしまっ
たのではないか。一言フォローを
添えるべきだったのではないか」。
日々の反省を繰り返しながら、
生徒との関わり方を模索してい
きます。その真摯な姿勢は子ども

企業情報

設立年：2012年4月
年商（さくら株式会社）：12.8億円
年商（さくらグループ全体）：17.2億円
※ 2025年3月決算時点

💡 銀行退職の決断、 そして新たな世界へ

ていないと感じ始めていた矢先、
支店長から呼び出されました。プ
ライドが高かった自分に一言「勉
強ができることと、仕事ができる
ことは全然違うから、プライドは
今すぐ捨てなさい」間違えたらす
みませんと謝る姿勢、わからない
ことを認め誰かに助けを求めるこ
となど、社会人としての所作を徹
底する重要性を教えられました。
その後、仙台にある親会社の経
営企画部へ異動。そこには、役員
クラスの人にもズバズバ言う怖い
お局さんがおり、どうやったらそ
の方の機嫌を損ねずに仕事ができ
るか、空気を読むことや、自分に
できることがないかを聞くこと、
自分から進んで仕事の進捗報告を
することなどの所作を徹底しまし
た。この営業店や本部での5、6
年の濃い経験は、今でも自身の大
きな財産となっています。

本部でキャリアを重ねる中、山
形県の鶴岡市にある本店営業部へ
の転勤辞令が下ります。しかし、か

からね」と一言添えるようになり
ました。

そんな海和さんは現在の名取教
室と五橋教室の2校から、さらな
る教室展開を考えています。前段
階として、現在中学生が合わせて
約120人在籍している名取教室
の生徒数を、各学年100人、総
勢300人規模へと拡大させたい
と考えています。

テストや受験という目の前の目
標に向かいつつ、非認知能力を同
時に開花させる。「こういうのを
待ってました」という保護者の声
に応えながら、海和さんはこれか
ら走り続けます。

海和 洵 さんってこんな人！

共に働く仲間たちの目から見た、海和さんの魅力的な人柄をご紹介します！
日々の業務で見せる真摯な姿や忘れられない思い出のエピソードから、その素顔に迫りました。



ハイパーラーニング
講師
つち だ かず しげ
土田 一成さん

業務上の関係と関わり

名取教室教室長

名取教室での業務全般について、色々なことを教えてください。また、生徒や保護者へのまめな対応は、とても参考になります。

海和さんを一言で表すと

「仕事人間」

休みの日でもメールチェックは欠かさないです！

思い出エピソード

高校の映像授業を導入する際に、相手側の説明がわかりづらく、みんなが「？」となっていたときに「1ミリもわからない」と、言いにくいことをズバリ言ってくれたこと。

メッセージ

働き過ぎにも見えるため、心配しています。今後年齢を重ねていく中で、ご自身の体も労ってください。

業務上の関係と関わり

1か月後に入社した後輩

私は2025年まで五橋の教室長を務めており、海和先生は名取の教室長を務めていました。五橋と名取で、テスト対策の日程や範囲の確認を行ったり、さまざまなイベントでお互いの教室ではどうするかを話し合ったりしていました。

海和さんを一言で表すと

「何時に出勤してるん？」

いつ入社しても、海和先生はすでに働いているためです。私が午前中にちょっとした用事で11時30分頃に出社したときにも、海和先生がいたことには驚かされました。ちなみにその日は特に忙しかったり、何かあったりした日ではありませんでした。あまりにも働いているため、心配してしまいます。

思い出エピソード

歓迎会での手料理と懐かしい思い出

私と海和先生が入社してすぐの頃に、会社の人たちが我々の歓迎会を開いてくれました。海和先生は地元の山形の料理である芋煮を振る舞ってください、とてもおいしかったのを覚えています。その後もみんなでバドミントンをしたり、とても長い滑り台で遊んだりして、童心に帰った気分でした。余談ですが、その歓迎会のことを「前塾長には秘密をお願いします」と社員の方々から念を押されたことが一番印象に残っています。



ハイパーラーニング
講師
あい やま まさ みち
相山 真亨さん

メッセージ

いつも名取教室の面倒を見てくれて、とても助かっています。海和先生の真面目で熱い情熱に引っ張られている生徒は数多くいることでしょう。最近はお子さんも生まれてより大変になっていると思いますが、これからも頑張っていきたいと思います！たまにはゆっくり定時に来てください(笑)

キッチンカー 特集

ししまると届ける「チャレンジ応援」

キッチンカー事業は、メインキャラクター「ししまる」の看板を背負い、各地で笑顔と応援を届けています。今回はキッチンカー担当の武藤さんに、事業に込める思いや今後の展望を伺いました。

企画広報課 キッチンカー担当
むとう ゆりこ
武藤 由利子さん



お客様からの声

「美味しかった」の声と、ししまる認知の実感

提供した料理を気に入り、その日のうちに再び買いに来てくださる方も多くいらっしゃいます。「美味しかったよ」と、声をかけていただけることもあり、大変嬉しく思います。また、イベント時には「今日はししまるはいないの？」と、尋ねられる機会も増えました。地域の皆さんに、少しずつ認知が広がっていると実感しています。

今後挑戦したいこと



ししまるくん

宮城県内から県外へ

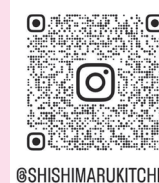
まずは宮城県内で認知度をさらに高め、行く先々で「あ、ししまるだ」と、声をかけてもらえるようになるのが目標です。将来的には、県内の他キャラクターとのコラボレーションや、山形県、福島県など県外への出店も目指したいと考えています。

現場で働く方へのお弁当提供

新たに挑戦したいのは、お弁当の販売です。現在は、イベントなどで手軽に食べられるメニューが中心ですが、当社は建設や配管事業も展開中。そのため、工事現場へ出向き、働く方々に喜んでいただける、ボリューム満点の「現場飯」やお弁当を提供したいと考えています。調理自体は1人で行うことが多いものの、代表をはじめ、清水さん、小川さん、中村さん、東海林さんなど、企画部の皆さんがいつでもメニューの相談に乗ってくれる環境です。周囲の力強いサポートがあるからこそ、楽しく仕事に取り組むことができます。

キッチンカーの担当業務

Instagramの更新や出店営業、場所の選定、メニュー考案など、キッチンカーの運営全般を担当しています。



Instagramはこちらからチェック！

キッチンカーに込める思い

笑顔で「チャレンジ応援」

当社のキッチンカーは「ししまる」に込められた「チャレンジ応援」がテーマです。ご来店いただくお客様には常に笑顔で接し、料理やサービスを通して皆さんの応援になればと心がけています。主なお客様は、お子様連れの方や学生さん、日々お仕事を頑張る方々です。

チャレンジできる環境

前職でも、5年ほどキッチンカーを担当していましたが、当時は売り上げが最優先でした。しかし当社では「皆さんに喜んでいただくこと」「ししまるを広めること」が第一です。

さらに、私自身が会社から多様なチャレンジの機会をもらっています。フライヤーに加え、鉄板での調理やメニューの考案も任されるようになりました。担当範囲が広がり大変な面もありますが、代表や企画部の皆さんのサポートのおかげで前向きに取り組んでいます。常に笑顔を絶やさず、私自身が今の仕事を楽しんでいます。

